

鳥取砂丘ビジターセンターに関して

このビジターセンターでは、鳥取の砂丘についてもっと学んでください。展示物を見ると、この砂丘の地質が何万年もかけていかにして形成されてきたのか、この数世紀で、独特な風景がいかにして人々の生活に影響を与えてきたのか、さらには、海岸を取り巻くこの厳しい環境にあって、いかにして動植物が繁栄しているのかがお分かりいただけます。ここでは、砂丘と砂漠の違いを学んだり、世界から集められた砂の違いを顕微鏡で見たりすることもできます。また、扉のすぐ向こうの砂丘を探索すれば、どのような動物の痕跡や昆虫のサインが見つけれられるのかも分かるでしょう。

1 階に展示されている深さ 4 メートルのボーリング試料を見ると、鳥取の有名な砂丘を形成する堆積物の層の切断面が分かります。現在の地質年代である地表部分の下には、約 6 万年前に発生した噴火で 70 キロ離れた大山から吹き飛ばされた灰と小石があります（なお、砂丘の端には、このときの火山灰が露出している場所があり、手つかずの自然をそのまま、自分の目で見るができます）。試料には他にも堆積層があり、9 万年前の九州、阿蘇山の噴火など、距離も時間も離れた火山の噴火の歴史を教えてください。

2 階にある「すなくら」シアターで上映される短編映画は、砂丘の美しい景色を紹介しています。シアターの壁面には実際の風紋の型が展示されており、こうした微細な地形現象が織りなすさまざまな形や、なぜそうした形ができあがるのかその理由について学ぶことができます。毎日数回、センターのスタッフが 15 分間のデモンストレーションを行います。風紋がどのように発生するのかを再現しますので、是非ご覧ください。なお、使用されている機械は、この種のものでは世界で唯一の装置であり、鳥取大学と共同で開発・設計されました。

1 階の展示物は、鳥取の砂丘を含むユネスコ世界ジオパーク山陰海岸ジオパークを紹介しています。レクチャールームは、事前の予約があれば最大 50 名までのグループにご利用いただけます。屋外には、休憩スペースがあり、テーブルやベンチ、足や靴の砂を洗い落とすための水場も用意されています。屋内でも、自由にお寛ぎいただけます——入口を入ってすぐのところにあるベンチをご利用ください。

砂丘でのアクティビティ

ビジターセンターのスタッフは、こうしたアクティビティや近隣のイベントに関する情報も提供できます。

- ・ガイドツアー
- ・砂絵教室
- ・サンドボード
- ・パラグライダー
- ・ファットバイクツアー
- ・ヨガ & SUP ヨガ
- ・セグウェイライド
- ・観光チェアリフト
- ・砂の美術館
- ・梨狩り（秋）
- ・らっきょう畑見学
- ・多鯨ヶ池と浦富海岸の探索